

登録コード:MH301100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	理学療法概論【20M以降】 An Introduction of Physical Therapy		
担当教員	横川 吉晴 他 百瀬 公人・西澤 公美・青木 薫・小宅 一彰・北川 孝		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	理学療法学専攻/1年 前期 月曜・5時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科111講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	理学療法の概要を修得し、説明できる
	MH25カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・理学		
	＜基礎的・専門的な知識と技能＞保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	理学療法の概要やその社会的要請、そして今後の役割を理解し、説明できる
授業で学べる「テーマ」	＜科学的探求力＞変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	最新の理学療法の概要を把握し、課題解決のために学習すべきことを説明できる
	地域運営、環境共生、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	理学療法の概念および歴史、社会的背景を理解したうえで、臨床医学、理学療法周辺領域との関係を学び、治療学としての理学療法の基礎を学習する。 本授業は担当教員の臨床における理学療法士・医師としての実務経験を活かして講義を行います。2年後期「理学療法評価法実習」、3年後期「地域理学療法学」、4年前期「臨床実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、4年後期「理学療法管理学」の基礎的な知識に位置づけられます。		
授業計画	第1回 (4月13日) 世界の理学療法の歴史 テキスト3章 (横川) 小テスト 第2回 (4月20日) 理学療法の対象と手段 テキスト2,5,6,8章 (北川) 小テスト 第3回 (4月27日) 地域理学療法と職域開拓 テキスト13,14章 (中村) 小テスト 第4回 (5月1日) 国内外の団体組織(WCPT,ACPT etc) テキスト11章 (西澤) 小テスト 第5回 (5月11日) 日本の理学療法の概要 テキスト3,4,8,10章 (百瀬) 小テスト 第6回 (5月18日) 関連医療職種との連携 テキスト7,8章 (外部講師) 小テスト 第7回 (5月25日) 理学療法部門における管理 テキスト7,8章 (百瀬) 小テスト 第8回 (6月1日) リスクマネジメント テキスト7,8章 (小宅) 小テスト 第9回 (6月8日) 理学療法記録1 テキスト2,4,7章 (横川) 小テスト 第10回 (6月15日) 理学療法記録2 テキスト2,4,7章 (横川) 小テスト 第11回 (6月22日) 整形外科と理学療法 テキスト5章 (青木) 小テスト 第12回 (6月29日) 医療専門職の倫理 テキスト1章 (横川) 小テスト 第13回 (7月6日) グループワーク1 (横川) 第14回 (7月13日) グループワーク2 (横川) 第15回 (7月27日) 発表会 (横川)・授業アンケート 第16回 (8月3日) 筆記試験 (横川)		
授業の進め方	講義やグループディスカッションを通じて理学療法の概要について学ぶ。		
テキスト、教材、参考書	奈良 勲：理学療法概論、第7版、医歯薬出版		
成績評価の方法	小テスト・レポート・グループ発表・期末試験をもって総合的に評価します。 総合評価の配分は小テスト・レポートが30%、グループ発表が10%、期末試験が60%とし、総計の60%以上を合格とします。筆記試験では6割以上取得数することを必須とします。 期末試験では理学療法士に関する法律、診療報酬制度、理学療法管理、リスクマネジメント、記録、倫理遵守事項などの理解度を確認します。		
成績評価の基準	成績評価の基準は以下のとおりです。 90-100%:秀 80-89%:優 70-79%:良 60-69%:可 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある：可」、応用問題が解ければ「やや上にある：良」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある：優」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している：秀」と評価します。		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業内容の欄に、教科書や副読本で予習しておくべき個所を指定します。 【事後学習について】 毎回、授業のはじめに前回の授業の要点について質問を行いますので、自分の言葉で端的にわかりやすく説明できるように準備して、授業に挑んで下さい。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間		

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	第6回は教室を変更する可能性がありますので、近くなりましたら連絡します。 質問への対応:横川 吉晴 fhakuba@shinshu-u.ac.jp 質問、相談には各項目担当教員が主に担当しますが、その他の教員も随時対応します。 オフィスアワー 随時対応します 南校舎4階 横川研究室
-----------------------------------	--